

平成30年11月8日

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	柏木保育園
代表者氏名（管理者）	園長 西川 佳世
法人名	社会福祉法人ひまわり会
定員（利用人数）	160名（182名）
施設・事業所所在地	滋賀県甲賀市水口町植440番地
T E L	0748-62-2770
F A X	0748-62-2770
電子メール	himawari13@shirt.ocn.ne.jp
ホームページアドレス	http://www.himawarikai.ed.jp/kasiwagi/

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク滋賀福祉調査センター
評価実施期間	平成30年8月20日及び8月22日

3、 評価の概要

○ 総合評価

2001年秋に水口町から公設民営保育園運営の要請を受けたことから、12月に社会福祉法人ひまわり会を設立し、町の人々や子どもたちの役に立てる地域に根ざした保育園づくりをめざして準備を進めることとなった。

2002年4月に水口町で最初の公設民営保育園として柏木保育園が開園した。

2004年には順調に園運営が進行する中で、水口北保育園の公設民営の追加要請を受け、2園目の運営活動を開始するに至った。

2009年から両園の建物を甲賀市から譲渡され、名実ともに民設民営保育園となった。

本園は田んぼに囲まれ、シンボルツリーのポプラが真直ぐに伸びる自然豊かな環境にある。子どもの最善の利益を守り心身共に健やかに育つように努め、保育基本方針4項目には「発達過程を踏まえた養護と教育の一体化」「個別に丁寧な対応」「自己を十分に発揮できる環境」と表明し、保育目標7項目「いのちを大切に育てる」「心身共にたくましい子に育てる」「自分のことは自分で育てる」「人の思いに気づける子に育てる」「感性や創造性のある子に育てる」「考えて行動する子に育てる」「自分の思いが表現できる子に育てる」を掲げて、園運営のベースになっている理念に沿った豊かな人間性の向上をめざす職員の保育実践により、子どもたちが元気にのびのびと朗らかに育ち巣立っていく等、保護者の評価も高い保育園である。

○ 特に評価の高い点

1. 理事長以下全職員の保育への一体化した取り組み

保育実践を行う職員の資質の豊かさや向上心を常にいきいきと保ち、人間性を磨くことの大切さに共感し、理事長以下全職員での一体化した保育の取り組みを進める為に基本理念の5か条を常に、全職員に浸透し続けている。

- ① 社会福祉の道は世の中で最も尊い仕事であることを誇りにしましょう。
- ② いつも小さないのちをお預かりしていることを片時も忘れないようにしましょう。
- ③ 園に来られるどの人にも心を込めて明るい笑顔と元気な声で挨拶しましょう。
- ④ どんなことにも感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。
- ⑤ 職員同士お互いに励まし合い、仲良くしましょう。

子どもに接する職員や大人の間性や豊かな資質の向上をめざし、理事長は当該月のトピックスや園運営に関するメッセージを作成し、創設以来今日まで毎月全職員、各理事、監事に届けている。

新入職員には、相談やメンタルケアを目的に先輩職員を指名し、チューターとなって支援する新入職員チューター制度を今年度から導入している。

2. 地域の自然環境に親しみ、守り育てる取り組み

NPO法人が運営する里山遊びがカリキュラムに組み込まれ、子ども達も大喜び出来るその日の来るのを待ち望んでいる。園児が自宅周辺や、園周辺の農道などで採取した「メダカ、フナ、カブト虫」などを園内で飼育し、みんなでお世話をしている。

園庭では、地域自治振興会などの指導を受け「チューリップ、ひまわり」などの花を育てている。

天気の良い日は、園庭で水遊び（プール）、砂遊びなどを楽しみ、近隣の農道や神社仏閣を散歩するなど、子ども達は自然に触れることを楽しんでいる。

3. 食育の取り組み

給食は調理師が保育士と一緒に、保育室への運搬、片付けに参加し、子どもに声かけしながら喫食状況を観察し、給食会議で喫食状況、除去食提供状況を報告している。

保護者に月間献立表を配布し、玄関に食事サンプルを掲示している。また食育の啓発のために保護者向けの試食会を行っている。

園内で育て、収穫した「ジャガイモ、さつまいも、オクラ、なす」などをみんなでクッキングして食事を楽しんでいる。

4. ボランティア活動の取り組み

市や地域周辺の各種団体に協力してもらい、サッカー教室、囲碁教室の指導者、里山遊びのNPO法人との交流、野菜作りの指導など、子どもたちが喜ぶボランティアの支援体制を整えて、年間カリキュラムに組み込んでいる。スタート直後から理事長が率先して各関係先との関係づくりに参加し、今日では協議体制も確立している。

5. 看護師の常駐体制

開園当初より看護師を配置し、けがや病気にいつでも対応できる体制を整えている。

家族と連携し、医療行為による依頼や与薬が必要な園児には、個別指導計画書を作成し、常に子どもを見守り適切に対応している。

6. 中期5ヶ年計画の取り組み

ひまわり会で、開園から現在迄の園運営内容、子どもを取り巻く環境や地域の自然環境の変化、地域内の保育園、小学校の現状をまとめ、今後の保育の在り方を5ヶ年計画に作成している。5ヶ年計画表は全職員へ配布して周知を図っている。

7. タイムカプセルの取り組み

最初の卒園児から、思い出の「子どもの作品・記念品など」をタイムカプセルに入れ園庭に埋め込んで保管している。卒園児と保護者を招き6年生の3月に開封の集いを行い、園児、保護者と理事長以下関係のあった保育士たちが集う。当時のまま出て来た懐かしい品々を話題に、当時を振り返る楽しいひと時となり、園児の成長に感激・保護者との再会・昔話に花が咲く等々お互いに交流しあい、懐かしさや感謝の気持ちがあふれてくる機会となっている。埋蔵の集いの参加者は約80%、開封の集いの参加者は85%が平均値となっており、関心の高さが窺える。

○ 改善を求められる点

1. 各種マニュアルの見直し・整備について

各種のマニュアルはほとんど整備され活用されている。中には、保育内容や保育環境の変化に伴い見直しが必要なものや、一部マニュアル（案）のままになっているものも見られる。

マニュアルの見直しにあたっては、各マニュアルの見直し計画書を作成し、まずマニュアル（案）の是非の検討からはじめる。見直しの必要なマニュアルについての検証、時代の変化に伴った新たな内容についての検討等、マニュアルとして活用しやすいものになるよう期待する。

2. 展示場所での工夫について

食育の展示コーナーには野菜等観察記録が展示してあり、素晴らしいと感じたが、その前に机が置かれているせいか、子どもたちには見えにくいし、保護者にも見てもらいにくい場所にあると思われた。何気なく目に入って足を止めたくなるような掲示場所の演出に力を注ぐことでまた、新たなコミュニケーションの深まりを期待できるのではないか。

3. 網戸の清掃・洗浄について

自然環境に恵まれる中、窓等を開放し網戸を通して風が吹き込んでくる風情をごく自然に感じている子どもたちや職員。これからも清掃や洗浄もこまめに行って頂き、衛生管理の行き届いた網戸を通してより一層さわやかな風を届けて欲しい。

4、 第三者評価結果に対する事業者のコメント

高く評価頂いた点については、今後も大切にしていきたい。
特に、自園給食を行っていることより食育に関する部分や、看護師を常駐し園児や職員の健康管理に努めている部分は、開園当初より取り組んでいる。今までの成果を信じ、継続すべき点だと思っている。
また、タイムカプセルの開封に多くの園児が来てくれることから、園児並びに保護者の園に対する親しみ度を実感している。園生活というものが、良き思い出となるよう、今後も子どもたちがのびのびと朗らかに育つ園であり続けたいと思う。
しかしながらマニュアル整備などの改善点を数点指摘頂いた。さらなる園の向上に向けて、早急に対応したい。掃除などの指摘点は職員一人一人の日々の心がけで対応できることなので、努力していきたい。